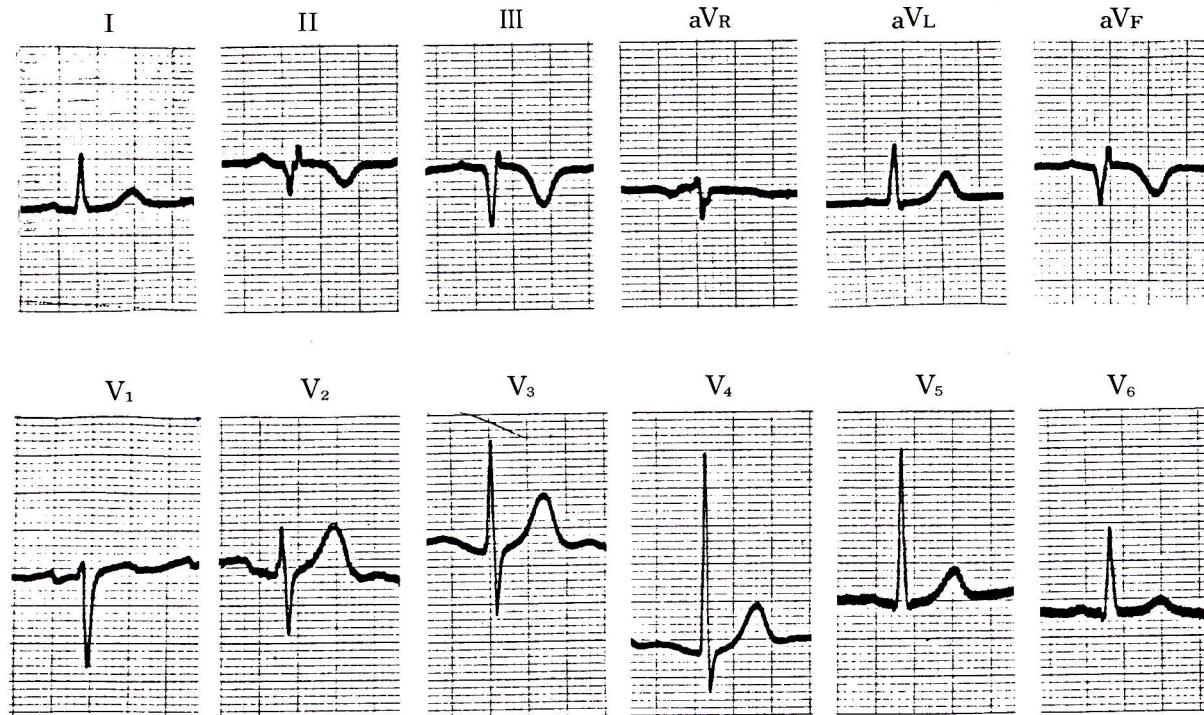


# 症例 40

●53歳 男

●心筋梗塞で入院中の患者の心電図である。



1) この心電図変化から梗塞部位はどこと考えられるか。

## 下壁梗塞（亜急性期）

II, III, aVFにQrパタンが認められ、同部位に冠性T波が出現している。胸部誘導に異常所見が出現していないことから、この梗塞は純粹に下壁である。下壁梗塞が中隔側、あるいは側壁側に広がった大きな梗塞であるとき、心電図変化はII, III, aVFに加えてそれぞれ、V<sub>3R</sub>, V<sub>1</sub>あるいはV<sub>5</sub>, V<sub>6</sub>にも出現してくる。

また、正常でもIII, aVFに深いQ波が出ることがある。しかし、これは心臓の位置関係から生じているものであるので、Q波の深さは呼吸に影響されやすく、またIIに異常Q波がなく、aVRにsmall rが出ることも少ないことから鑑別できる。